

あらゆる開発者の夢の実現に貢献したい

板金加工
株式会社豊里金属工業 専務取締役 工場長
Kenji Iwamizu

岩水 建二



所属企業 株式会社豊里金属工業
〒533-0013 大阪市東淀川区豊里4丁目16-24
TEL: 06-6328-9122 FAX: 06-6320-1315
HP: http://www.toyosatzokinzoku.com



「なんでもつくる」をモットーに、
板金加工を極める

「進化型ハイブリット金型」という独自の金型を生み出し、試作精密板金加工に特化する株式会社豊里金属工業で、専務取締役兼工場長を務める岩水建二さん。大小さまざまな機械を自在に使いこなし、豊富な経験と豊かな発想力を生かした板金加工技術で、難度の高い依頼にも、独自の提案力を生かし、不可能を可能にする優れた技能者である。

これまで、数多くの開発者の試作の実現に貢献し、常にお客様の求める一歩先の技術をめざすという高い向上心を持ち、高度な要求に応え続けている。



楽しく歩く人を世界中に増やしたい

靴の設計・製造
有限会社シューズミニッシュ 代表取締役社長 靴職人
Yasuo Takamoto

高本 泰朗



所属企業 有限会社 シューズミニッシュ
〒544-0012 大阪市生野区巽西1丁目9-24
TEL: 06-6755-2430 FAX: 06-6752-9788
HP: https://www.regeta.co.jp/



履く人のことを考えぬいた靴づくり

靴本来の役割を実現する「履き心地・歩き心地」を追求した靴づくりに真摯に向き合う有限会社シューズミニッシュの代表取締役社長 靴職人の高本泰朗さん。会社の代表を務めるとともに、20年以上のキャリアをもつ『靴職人』でもある。累計販売約750万足以上の「リゲッタ」シリーズの生みの親だ。靴の設計からデザインまでをこなし、『靴職人』として高い技能を有し、2017年度大阪府優秀技能者表彰「なにわの名工」を受賞している。

また、生まれ育った生野区での靴づくりにより、地域活性化にも大いに尽力している。



万年筆をつくるようになって、仕事が楽しくなった

木工挽物
平井木工挽物所 代表
Mamoru Hirai

平井 守



所属企業 平井木工挽物所
〒544-0004 大阪市生野区巽北3丁目1-24
TEL/FAX: 06-6752-3875
HP: http://hirai-woodturner.com/



“世界にひとつだけ”をつくりだす匠の技

木工挽物職人として50年以上のキャリアをもつ平井木工挽物所 代表の平井守さん。伝統工法である“ろくろ”と自作の道具を用い、さまざまな素材を削る希少で高い技能を有する木工挽物の職人。万年筆やボールペンなどの平井木工挽物所オリジナルブランド「雲舟シリーズ」は、屋久杉や桜など日本の銘木をはじめ、紫檀・黒檀など様々な選りすぐりの銘木から、平井さんの手により1本ずつ丁寧に削りあげられる、あたたかみのある世界に1本の筆具だ。

培ってきた匠の技は2人のご子息に大切に引き継がれている。



溶接の技術を高めるほどに、新しい世界が広がる

金属溶接
柘谷溶接所 代表
Atsushi Hiragitani

柘谷 篤司



所属企業 柘谷溶接所
〒550-0025 大阪市西区九条南3丁目23-23
TEL: 06-6581-1805 FAX: 06-6581-1805
HP: http://hiragitani-welding.com



金属溶接のスペシャリスト

1977年創業の柘谷溶接所の代表 柘谷篤司さん。20年以上のキャリアをもつ2代目だ。柘谷溶接所は職人2人の小さな町工場だが、鉄・ステンはもちろん、加工が難しいとされるアルミや真鍮などの溶接も、多種多様な機械と技能を駆使し溶接を施す。ステンレス鋼溶接技能者専門級の資格を有し、寸法精度の厳しいステンレスの製缶や異種金属のロウ付けも行えるなど、高い技能を誇る。

また、西区九条の「鉄の町・九条」としてのブランド化に尽力。若い世代に町工場の魅力を発信している。



ゴムの切削加工の存在を世界中に知ってもらいたい

ゴム切削加工
株式会社モリテック 製造部 生産技術課 課長
Suehiro Yamamoto

山元 末広



所属企業 株式会社モリテック
〒552-0012 大阪市港区市岡2丁目1-7
TEL: 06-6573-5683 FAX: 06-6574-5886
HP: http://www.moriteq.co.jp



ゴムの切削加工を熟知し、技を伝える

世界でも珍しいゴム切削加工に特化する株式会社モリテックで、生産技術課課長を務める山元末広さん。最新鋭のNC加工機を使いながら、最後は熟練した職人が汎用工作機を駆使し、手加工で精密に仕上げられるゴム切削加工において、全工程の技術を熟知するスペシャリストだ。

特殊な技能であるゴム切削加工の課題は、その技を「伝えていく」こと。現在は、これまで培ってきた技と経験を、後進に伝える仕事を担い、社内での技能的難題に対して頼りになる技術の拠り所的存在である。



「大阪テクノマスター」とは..

- その技能が極めて卓越した水準にあると認められること
- 後継者の指導・育成の能力及び
次世代のものづくり人材の育成への熱意を有し
大阪テクノマスターとして認定後
概ね3年間は、実際に活動可能であること
- その技能及び活動が
本市の次代のものづくりに寄与するところが大きであると認められること

以上の認定基準を満たす
大阪市のものづくり中小企業の技能者を
「大阪テクノマスター」として認定しています。

大阪には、優れた技能者が活躍する技術力の高いものづくり企業が集積しており、日本のものづくりを支えています。

大阪市では、市内事業所において卓越した技能を持ち、後継者の指導・育成の能力及び次世代のものづくり人材の育成への熱意を有する方を、「大阪テクノマスター」として認定しています。

この「2018年度大阪テクノマスター」には、大阪のものづくりを担う5名の大阪テクノマスターを掲載しています。是非、大阪が誇る素晴らしいものづくりの技能をご覧ください。

大阪市は、9名の2017年度大阪テクノマスターと合わせた14名の「大阪テクノマスター」の方々とともに、さまざまな取り組みを通じてものづくりの魅力を広く発信してまいります。

大阪市長 吉村洋文